

PHC凝固線溶セミナー 九州 2026



2026年

10月31日(土) 13:30~17:35 (予定)

会場

T K P ガーデンシティ 鹿児島中央

〒890-0053 鹿児島県鹿児島市中央町 26-1 南国アネックスビル

J R 鹿児島本線 鹿児島中央駅 徒歩 3 分

開催形式

ハイブリッド開催 現地／Web (Live 配信)

特別講演

「止血機能検査の理論的背景

～プロを目指すあなたへ～

橋口 照人 先生 鹿児島大学 理事・副学長

教育講演

「熊本地震から血液凝固異常症を考え直す

「できること、できないこと、備えること」

内場 光浩 先生 熊本大学病院 輸血・細胞治療部

参加登録はこちらから
<https://x.gd/LWlsb>



URL または二次元コードより事前登録をお願いいたします

特別講演

「止血機能検査の理論的背景 ～プロを目指すあなたへ～」

橋口 照人 先生 鹿児島大学 理事・副学長

血管の中を流れる血液が出血すると固まってしまう。この不思議な仕組みの解明に多くの先達が研究に取組み人々の健康に寄与してきました。しかし、まだまだ分からないことばかりです。次世代の止血機能検査の夢を現場に立つ検査室の皆様に託してお話します。

教育講演

「熊本地震から血液凝固異常症を考え直す —できること、できないこと、備えること—」

内場 光浩 先生 熊本大学病院 輸血・細胞治療部

2016年の震度7の揺れが2回起こった熊本地震に続き、本年7月、再び震度7の揺れを伴う令和8年熊本地震が発生した。現時点では地震そのものを予見することは出来ず、まして地震そのものを防ぐことは出来ない。しかし、その被害を減らすことはできるはずである。そのためには、その時、何が起こり、何を行なったのかを振り返ることが重要で、このことが次の災害（地震に限らず）に備えることに繋がる。本講演では、一医療者の立場ではあるが、熊本地震の現場での経験を参加者と共有してみたい。また大規模災害後に問題となる深部静脈血栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）について、災害時の問題点とともに、災害時に限らない視点からも考え直してみたい。

企画委員

笠畑 拓志 先生	鹿児島大学病院
寺原 孝弘 先生	宮崎県済生会 日向病院
手登根 稔 先生	浦添総合病院
松本 信也 先生	九州大学病院



PHC 株式会社
製品紹介

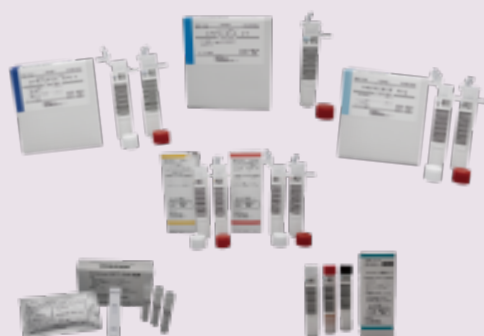


STACIA® CN10

特定保守管理医療機器
一般的名称：血液凝固分析装置
販売名：全自動血液凝固検査システム
STACIA CN10
届出番号：13B1X10144000038



各種試薬



PATHFAST®

特定保守管理医療機器
一般的名称：移動式免疫発光測定装置
販売名：パスファースト
届出番号：13B1X10144000037

